

9
18

株式会社北上製作所に助成金を交付

商工業振興促進助成金 交付式



津幡町大坪地内に本社工場を新築した株式会社北上製作所に対し、津幡町商工業振興促進助成金の交付式が9月18日に町役場で行われました。

この助成金は、町産業の健全な発展と安定的な雇用の確保を目的に交付されるものです。交付式では、これまでに交付された中で最高額の助成金決定通知書が、矢田町長から北上浩之社長に手渡されました。

株式会社北上製作所は、建設機械や輸送機械、農業機械などの幅広い分野に使われている機械部品を製造しています。令和3年に大坪地区工場用地で用地を取得して町内で6つ目の工場となる新本社工場の建設を進め、令和6年の新本社工場の完成にあわせて、金沢市から津幡町へ本社を移転しました。

矢田町長は、「町民の雇用が増えることを期待している。これからも御社が発展するよう、町としても協力を惜しまず、支援していきたい」と述べると、北上社長は「工場を大きくしていき、日本一の溶接工場を目指す。雇用の面でも町民を積極的に採用し、町と共に頑張っていきたい」と力強く応えました。



このコーナーでは、町のニュースや地域のイベントなど、町的话题をお伝えしていきます。

広報つばた

10

CONTENTS

- 02 まちのNEWS!
- 05 つばたファンフェスタ
- 06 暮らしの情報
- 19 令和6年能登半島地震 生活再建支援情報
定額減税補足給付金(不足額給付)
- 20 令和8年度 入園申込
- 21 消費生活「停電復旧後の火災に注意」
- 22 津幡町中学生海外派遣交流事業
- 23 友だちリレー、Cook Do どう？
- 24 図書館へおいでよ
- 25 つばた空港、こども科学館
- 26 ケーブルテレビ番組表
- 27 赤ひげ通信、文芸
- 28 手話、フィットネス、QUIZ
- 29 慶弔だより
- 31 こどもの広場
- 33 ごみ収集ごよみ、休日当番医ほか
- 35 イベントカレンダー

今月の表紙



津幡町eスポーツフェスタ2025

今月の表紙は、9月20日に福祉センターで開催された津幡町eスポーツフェスタ2025です。

会場には、太鼓の達人やグランツーリスモなどの人気ゲームのeスポーツ体験ブースや、プログラミング体験教室などが開催されました。

来場者は各ブースを回り、友達同士で夢中になって遊ぶ姿や、「マイクロビット」という小型のコンピュータボードを使って、ドローンの飛行プログラムや人気ゲームのプログラムを作る親子で賑わいました。

この模様は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で10月16日から放送予定です。(内田)

9/6 夜空を彩る光の祭典 アカリート AkaReeT2025

スカイランタンイベント「AkaReeT2025」が9月6日に倶利伽羅不動寺西之坊鳳凰殿で開催されました。

このイベントは町の魅力発信を目的に、津幡町商工会青年部が2018年から行っています。

今年のテーマは「あかり」で、北陸初のシャボン玉アーティストである「AWADAMA」をはじめ、さまざまなアーティストがステージ上でパフォーマンスを披露しました。

メインイベントのランタンリリースでは、LEDが入ったスカイランタン約600個が一斉に空に上がり、幻想的な光景に会場からは歓声があがりました。



8/30 いろんな国のCIRと世界を学ぼう！ グローバルEXPO

津幡町、金沢市、白山市、かほく市、野々市市、内灘町の4市2町による国際交流イベント「グローバルEXPO」が8月30日に金沢市役所で開催され、約700人が来場しました。

津幡町のCIR(国際交流員)を含め、各市町から10人のCIRが参加し、カナダ、アメリカ、ドイツ、フランス、ベルギー、韓国、中国の7か国を紹介しました。

来場者は各国のブースでCIRと会話しながらクイズやゲームに挑戦し、カードにサインを集めて海外のおやつを受け取りました。また、クラフトコーナーや英語チャットコーナーなども催され、さまざまな国の文化に触れることができた一日となりました。

9/13 いざというとき、行動するために 応急手当救急法を体験

町スポーツ協会によるスポーツライフ講習会「応急手当救急法」が、9月13日に町消防本部で開催されました。

町消防本部職員を講師に迎え、救急車の適正利用について町の現状を踏まえたお願いと、救急車到着までにできる応急手当とその重要性の説明がありました。次に行われた実技では、参加者は的確に胸骨圧迫をすることの難しさに驚きながらも、アドバイスを受けて懸命に胸元を押し、AED操作と連携した救命処置を行いました。

参加者からは「日常生活では体験できないことなので、勉強になった」という感想が寄せられました。



9/6 町民大学で「アニメ」を紹介 多視点でアニメを考察

町民大学の情報社会講座「アニメのミカタ ～アニメから現代そして未来を視る～」が、9月6日にシグナスで開催されました。

石川工業高等専門学校の越野亮教授と永井隆之准教授がアニメの楽しみ方を紹介したほか、主人公たちの立場・戦い方に着目した解説も行いました。また、アニメには社会情勢が反映されているものもあり、「現代の国際環境の中での今後の在り方」という未来へのヒントも与えられていることを伝えました。

参加者からは「アニメの世界は今の世界・政治の在り方と共通していたと知った」「今後もっと深くアニメを見てみたい」といった感想が寄せられました。

9/20 古代鏡から歴史を学ぶ 世界に一つの鏡づくり

津幡ふるさと歴史館の子ども歴史民俗講座「古代鏡をつくろう」が9月20日にシグナスで開催され、親子18人が参加しました。

初めに鏡の役割や歴史を学んだ後、実際に北中条の遺跡から出土した「珠文鏡」が紹介され、当時の歴史を知る貴重なものであることが説明されました。

その後の実習では、低温で溶ける金属を鋳型に流し込んで鏡を作り、冷めたら鋳型から外して周囲を削った後、金属磨きで一生懸命に磨いて仕上げました。参加者は「磨き作業は大変だったけど、ピカピカになって自分の顔が映るようになるまで磨いた」と笑顔で喜び、親子で歴史に触れる講座となりました。



9/13 その子らしい生き方に寄り添う 子どもとの関わり方を学ぶ

子どもの行動や発達について学ぶ研修会「ちょっと気になるうちの子!? 集まれ!!」が9月13日に福祉センターで開催され、約50人が参加しました。

はじめに、石川県立特別支援学校の杉江哲治校長による講演が行われ、子どもの希望を少しでも叶えられるように、周りの人が工夫をしてみることの重要性が、実例を交えて伝えられました。その後、相談機関の紹介と談話会が行われ、参加者からは「その子らしく生活させてあげたい」、「当事者のつらい思いが分かった」などの感想が寄せられました。

この模様は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で10月16日から放送予定です。

9/22 傾聴を通したボランティアのあり方 ボランティア養成講座

津幡町社会福祉協議会による「地域ささえあいボランティア養成講座」が、9月22日に町福祉教育プラザで開催されました。

この講座は、日常生活を支援するボランティア「協力会員」を養成する講座で、今回は「傾聴・生活支援」をテーマに行われました。2人の講師による説明や、コミュニケーションの行き違いになった事例の紹介、参加者同士のグループワークを通し、傾聴の方法や気を付けるポイントを学びました。

参加者からは、「傾聴について基本的な考え方が学べた」「地域のボランティアには、傾聴の必要性があるように感じた」という感想が寄せられました。



9/13 町の児童生徒が芸術作品を披露 少年少女美術展

第11回「津幡町少年少女美術展」が9月13日から15日にかけてシグナスで開催されました。

この美術展は、町子どもたちの心豊かな成長と造形芸術に対する興味関心を高めることを目的として、毎年開催されています。

町内在住の小中学生から応募のあった絵画・書道・陶芸・絵手紙・写真作品計336点が出展され、個性あふれる力作が一堂に会しました。

期間中は多くの人々が訪れ、子どもたちの感性あふれる作品の数々を鑑賞し、楽しみました。

なお、入賞者121人には記念品や賞状が贈られました。